

令和7年度 施設管理運営事業評価票(令和6年度実施分)

1 評価対象施設

公の施設の名称		宝塚市立地域利用施設 西谷会館			
所在地		宝塚市大原野字炭屋1番1			
指定管理者	団体名	特定非営利活動法人宝塚NISITANI	指定期間	開始日	令和3年4月1日
	所在地	宝塚市大原野字炭屋1番1		終了日	令和8年3月31日
選定方法		非公募	評価実施年		指定期間5年のうち4年目
施設設置目的		地域社会における市民相互の交流及び相互扶助並びに市民の主体的な学習活動等を促進し、連帯感のある新しいコミュニティづくりに資するため。			
主な実施事業		会館管理運営事業			

2 利用状況(目標と実績)

成果指標	単位	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
		目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績
a 利用回数	回		816		868		1008		1038
b 稼働率	%		9.3		9.4		10.9		11.2
c									
d									
e									

3 指定管理業務にかかる収支状況

(単位:千円)

区 分		令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度決算
収入計	A	15,516	15,899	16,128	15,638
指定管理料		15,136	15,136	15,136	15,136
利用料収入	C	337	466	447	454
自主事業収入		0	0	0	0
その他		43	297	545	48
支出計	B	15,071	15,750	15,959	15,980
指定事業費		15,071	15,750	15,959	15,980
内、人件費	D	6,942	6,950	7,236	7,369
内、再委託料	E	4,050	3,817	3,761	3,830
自主事業費		0	0	0	0
事業収支	A-B	445	149	169	(342)
利用料金比率	C/A	2.2 %	2.9 %	2.8 %	2.9 %
人件費率	D/B	46.1 %	44.1 %	45.3 %	46.1 %
再委託費比率	E/B	26.9 %	24.2 %	23.6 %	24.0 %

・「支出」欄「指定事業費」は、代表的な内訳を取り上げているため合計額とはならない。

・着色セルは、自動計算としている。

・事業費は、前年度以前の決算を記載する。

補足説明	
------	--

4 評価

注) 自己評価・・・指定管理者 所管評価・・・施設所管課

評価項目	評価基準	自己評価	所管評価
① サービスの履行の確認	法例に基づいた点検、報告の実施、個人情報への配慮、保守点検、清掃等の日常業務、緊急・災害時の市への円滑な連絡と協力等、業務の実施状況についての評価を行う。	A	A
② サービスの質の評価	事故防止、安全確保、環境への配慮、利用者に対する接遇、苦情処理への適切な対応等、利用者に提供するサービスの質の水準を評価する。	A	A
③ サービスの安定性の評価	専用の口座、帳簿等を備え、収支計画に沿って適切に経理、予算決算処理がなされているか評価を行う。	A	A
指定管理者所見 (成果、課題等)	西谷地域におけるコミュニティーセンターとして、西谷児童館、夢市場、ふれ愛ライブラリーとの連携を図るとともに適切な維持管理及び市民の利用増進に努めた。なお、施設設備の老朽化への対応が増加することが懸念される。 また、維持管理については、最小の経費、最大の効果を図るべく努めているが、最低賃金の増額改定や光熱水費の高騰により、収支バランスがくずれ、今後の改善が必要となっている。		
施設所管課所見 (成果、課題等)	コロナ禍収束後も、夢プラザ内の児童館、夢市場、西谷ふれ愛ライブラリー、社協地区センターとの定期的な情報交換を行い、消毒の徹底など、再度の感染拡大防止を徹底された。 会館の利用については、利用者へのアンケートの実施による管理業務の改善やホームページを使って半月ごとの空き状況の更新、更には夢プラザ内の各施設と連携した積極的な情報発信により、利用率の向上に努められている。 さらに、複合施設の強みを生かし、イベントの連携を図るなどにより集客力を上げている。 施設設備の老朽化への対応が増加することが懸念される。 今後も引き続き、利用満足度や稼働率の向上のための検討・工夫を期待している。		
前年評価	A	総合評価 A	

※評価区分

評価基準:	A (優良) = 協定書、仕様書等を遵守し、要求水準よりも優れている。
	B (良好) = 協定書、仕様書等を遵守し、要求水準を概ね満たしている。
	C (要改善) = 協定書、仕様書等に定める要求水準を満足していない。
総合評価:	A (優良) = 自己評価、所管評価の《総括》にCが含まれず、かつAが4つ以上ある。
	B (良好) = 優良、要改善以外の評価
	C (要改善) = 自己評価、所管評価の《総括》にCが2つ以上含まれる。